

八王子千人同心日光往還ウオーク第17回レポート

第17回 東松山東平バス停からJR吹上駅

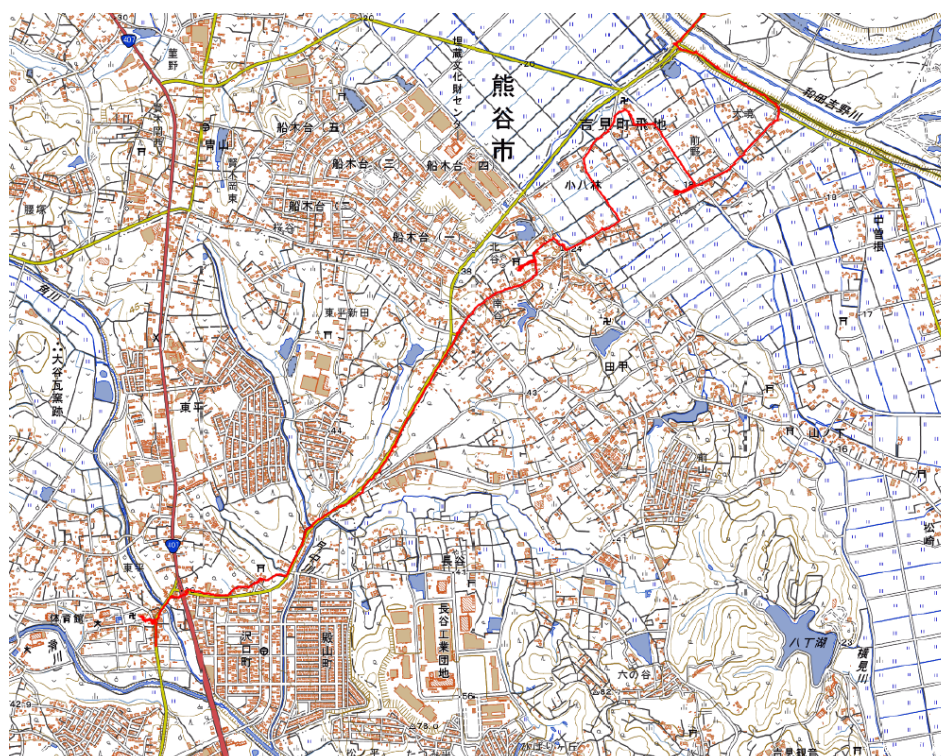
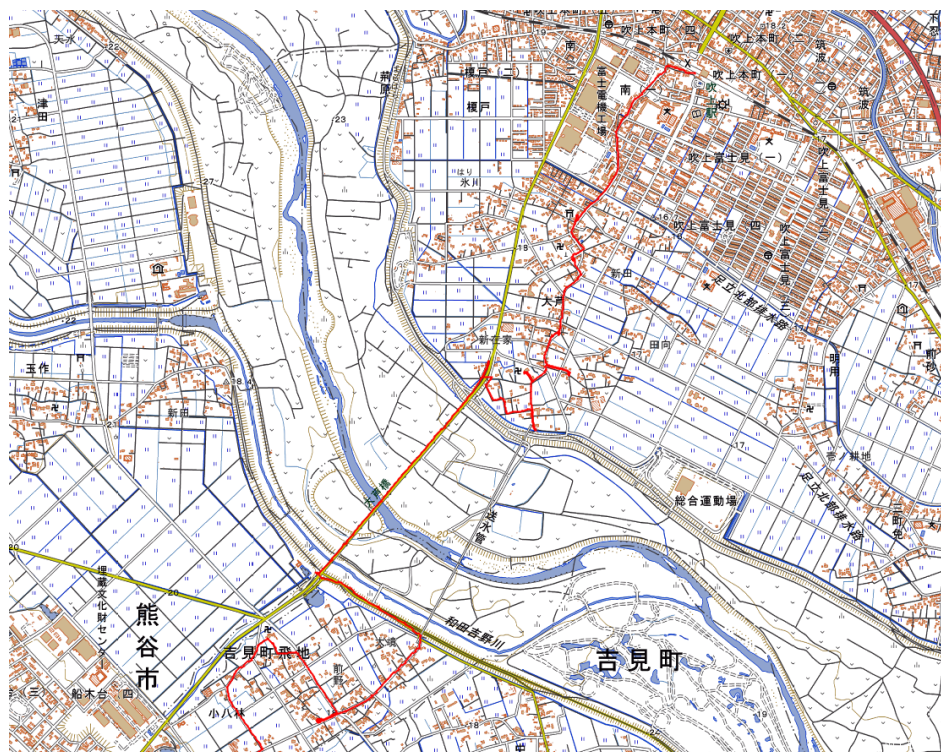
実施日 2023(令和5)年1月18日(水) 天候 快晴 一時 風強し

参加者 折本 文雄、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計4名

歩行距離: 11.0km。 累計歩行距離 159.1km。

全体所要時間: 4時間17分。 移動時間: 2時間46分。 停止時間: 1時間31分。

移動平均速度: 4.0km/h。 全体平均速度: 2.56km/h。



東武東松山駅9時30分発熊谷駅行きバスに乗る。90:41東平バス停に着き出発。2020（令和2）年3月18日に訪れなかった覚性寺を参拝、薬師堂を再訪。以前歩いた街道を戻るように進むと右への小道があり、その角に道標を兼ねた地蔵尊石像と馬頭観音の石碑がある。（9:44）右への小道（この小道が千人同心日光往還である）を進み国道を歩道橋で渡り、県道（街道）に出て進む。

県道を200m程進み、左斜めへの道を進んで行くと熊野神社に着く。（10:00~03）境内に「石橋供養塔」がある。熊野神社から旧街道と思われる裏道を通って県道に出て、徐々に上りながら進む。

県道に出てから約800mの右側に道標を兼ねた馬頭観音、約1.3kmのY字分岐の手前左側に馬頭観音がある。分岐は県道から離れ右の道を行き、100m程に「地蔵堂」があり、中に地蔵菩薩と如意輪観音の石像が祀られている。（10:28）

地蔵堂から500m弱の左へ入る道の角に道路改修の碑があり、左に入って行くと「春日神社」がある。（10:37~51）この春日神社の参道入口に「一の鳥居」があり、脇には多数の石碑や石灯籠があり、「大鳥居改築祈念碑」には、神社創建や千人同心との関わり等が刻まれている。長い参道の途中に二の鳥居があり、階段を上った奥に社殿がある。また、合祀された社が祀られている。

春日神社を出て左へ、そして十字路を右に行くと右側に庚申塔があり、道なりに進み道路に出る手前に馬頭観音、その先にも馬頭観音が祀られている。出た十字路を左折し下って行くと右側に道標を兼ねた供養塔がある。旧街道はこの辺りから斜め左へ行っていたと思われるが今は消滅し畑となっている。供養塔の4~50m先で左折して旧街道に近い道を進んで行くと大福寺がある。大福寺には庚申塔がある。

大福寺を出て舗装道路を南東に向かい、信号交差点を右折。100m程に昼食場所「ちゃよりあい」がある。（11:21~12:18）昼食し休憩をとる。

昼食後、荒川の土手に向かって進む。途中、二カ所に地蔵尊が祀られ、また、埼玉銀行頭取・会長を勤めた長島恭介の生家に開設された「長島記念館」がある。

荒川土手の手前に荒川に架かる送水管橋の見上げる高さの塔を見て土手に上がり、上流に向かって進む。橋の手前で一旦土手を降り、県道の下の特ネルを潜って反対側に出、橋（大芦橋）の上流側の歩道を進む。大芦橋は約1000mあり、ものすごい風の中、約14分掛けて渡る。（12:38~52）

荒川左岸の堤防上は工事のため、迂回して鴻巣市側の送水管橋の塔の脇にある「賽ノ神」の石塔に向かう。（13:02）

「賽ノ神」から「医王寺」（13:06）、稲荷神社と傍らの庚申塔、一目連大神と周る（13:13）。旧街道に戻り150m位進んだ所に「日枝神社」「道六神」の社と「安産子育山王社」の石塔、道標を兼ねた「(表)庚申塔、(裏)賽神」の石柱がある。

旧街道を進み、約500m先の「龍光寺」に向かい、その傍の公園で休憩をとる。（13:28~35）龍光寺から旧街道を100m程進んだ所に氷川神社がある。（13:39~42）

氷川神社から旧街道を550~60m進んだ左側に黒い板塀の屋敷がある。（13:51）この黒い塀は舟材で造られている。この屋敷・秋池家はかつて大芦河岸の船問屋で数十艘の舟を有していたという。

街道を道なりに進み、JR高崎線の手前で右折すると吹上駅である。13時57分到着。14時26分の湘南新宿ラインの列車に乗る。



覚性寺薬師堂



春日神社



「ちゃよりあい」で昼食



強風の荒川・大芦橋



氷川神社